

八百津高等学校

「伏見小学校の安江校長先生に、いろいろ聞いてみた！」

【1年生】左谷野 一 さん 小島 信司 さん



御嵩町立伏見小学校 校長 安江 奈留美 氏

伏見小学校では、沿線地域の活性化や児童の意識醸成を見据えた広見線の歴史学習や、一家庭一実践として広見線を積極的に利用する取組が行われており、赤い電車応援ポスター展には同校児童から非常に多数の応募がありました。現在パソコン室の一部に広見線学習を特集したスペースが設けられています。

▶児童に名鉄広見線の大切さを知ってもらうためにどのような工夫をされましたか？

なぜ広見線という鉄道が敷かれたのか、その歴史や昔の人々の気持ちを考える学習を、4・6年生等で設定しました。また、校外学習で広見線を利用するときに、ただ乗るだけでなく、沿線の人々との関わり、働く人の姿、鉄道車両への興味・関心などいろいろな要素を組み込んで実施しました。

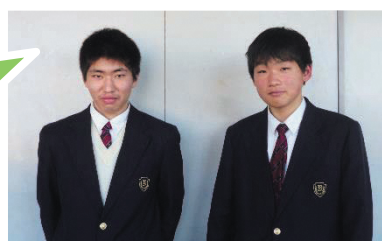
▶児童が赤い電車のポスターを描いているときの感想や児童の反応はどうでしたか？

事前に広見線の歴史について学び、今年が開通97周年で、あともうすぐで100周年を迎える重みのある鉄道であることを理解し、意欲的に楽しんで描いていました。豊かな自然の中を走る電車、人の思いを乗せて走る電車、長い歴史の中で活躍した電車まで、一人ひとりが広見線を大切にしていきたい、未来につなげていかなければならないという気持ちで描いていることが伝わってきました。

▶名鉄広見線の学習についての感想をお聞かせください。

想いを同じにする小中学校・高等学校や地域の方々、行政などとのつながりをさらに深めていけたらよいと思います。みんながまちの将来について考えるきっかけになることも含め、大切にしていきたいです。

学習活動として広見線を取り上げていたことに驚きました。児童が広見線を知るということは、自分の将来の夢の選択肢や、地域のことを知るということにつながっていると思います。広見線を単なる交通手段としか考えていませんでしたが、校長先生の活動を知って、私もなぜ広見線という鉄道が敷かれたのか、昔の人々がどんな気持ちだったかが気になりました。私たちも、その活動について積極的に協力したいと思います。



広見線は駅と駅をつなぐだけじゃない。私たちの「現在」と「夢」をつなぐものだと思います！

「名鉄広見線へのメッセージ」

【1年生】加藤 里歩 さん セロイ ショイセ さん 古田 優海 さん 長瀬 涼加 さん 家田 サリナ さん 近藤 野々香 さん



「名鉄広見線のために、私たちができることから始めよう！」

をテーマに、名鉄広見線の「現在」と「未来」について、東濃高校・東濃実業高校・八百津高校の生徒が考え、協力して、ニュースを作成しました！



岐阜県立東濃高等学校
可児郡御嵩町御嵩2854-1
TEL:0574-67-2136

岐阜県立東濃実業高等学校
可児郡御嵩町伏見891
TEL:0574-67-0504

岐阜県立八百津高等学校
加茂郡八百津町伊岐津志2803-6
TEL:0574-43-1231

【訂正とお詫び】平成29年12月発行の第79号にて記載内容の誤りと記載漏れがございましたので、下記の通りとさせていただきます。ご迷惑おかけしましたことを深くお詫び申し上げます。【訂正】モニターツアーの参加者は計63名です。（記載漏れ）モニターツアーは、平成29年度岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を活用して実施しました。

東濃高等学校

「御嵩あかでんランド実行委員会の金子さんに、いろいろ聞いてみた！」

【2年生】横山 永吉さん 平野 睦さん 池野 柚輝さん 谷口 雅さん 【1年生】日比野 竜平さん 坪内 寮さん 渡邊 快さん 伊藤 悠真さん



御嵩あかでんランド実行委員会 会長 金子 佳史 氏

平成29年9月24日（日）に開催された御嵩あかでんランドの実行委員長として、住民のボランティアを集い、地域外からの利用促進と広見線沿線地域の活性化に貢献されました。また、今年度の経験を生かし、来年以降もよりパワーアップした同イベントを開催される予定です。

▶御嵩あかでんランドをはじめようと決めた時のきっかけや気持ちを教えてください。

御嵩町は魅力ある街であるにも関わらず、認知度が低いのではないかと感じていました。また、以前より「御嵩の魅力を発信できるイベントを開催したいね」と副会長の岸野さんと話をしていました。そこで、町の魅力・現状などをピックアップするうち、こどもから高齢者まで楽しめる電車を使ったアトラクションの開催に行きつき、「どうせやるなら大きくやろう！」と仲間達を募り、1日500人の集客を目標にして開催しました。

▶御嵩あかでんランドを行うことのメリットはなにかありますか？

ただ単純に楽しんでいただけるだけでも十分ですが、その中で多くの魅力を感じていただき、再度御嵩に足を運んでもらうこと、さらには将来的に御嵩で働く・住むことにつながれば、うれしく思います。

▶今後の御嵩あかでんランドの展望をお聞かせください。

今後も金銭的・人的・対外的な部分で、イベントの協力者などに負担がかからないように開催していきたいと思っています。今後はさらに内容を充実させ、十分に広報を行い、より多くの人に参加してほしいです。内容の充実でいえば、お買い物ができるマーケット企画や、町中を周遊できるアトラクションなどができればと考えています。

御嵩町の魅力を発信するための「まちづくりのイベント」に、広見線を使って周りに発信していくという発想はすごいと思いました。また、それを計画・実行する行動力を見習ってみたいです。

今後もあかでんランドの活動が継続し、御嵩町の魅力が発信し続けられたら素晴らしいので、普段広見線を使っている私たちも、広見線を残す活動や地域の魅力を発信できる活動に積極的に参加していきたいです！



みんなの笑顔のために走る
広見線を応援していきます！

「名鉄広見線へのメッセージ」

【2年生】平野 睦さん 池野 柚輝さん 谷口 雅さん 【1年生】日比野 竜平さん 坪内 寮さん 渡邊 快さん 伊藤 悠真さん

東濃実業高等学校

「名鉄広見線を守ろう会の伊藤さんに、いろいろ聞いてみた！」

【2年生】牧岡 拓巳さん 井戸 咲希さん 小栗 佐登子さん 笠木 結衣さん 【1年生】瀬藤 騎士さん 梅村 凌太さん 野田 聖也さん



名鉄広見線を守ろう会 代表 伊藤 也寸志 氏

広見線の存続のため発足された「名鉄広見線を守ろう会」の代表をされており、毎月1回電車を利用して様々な場所へお出かけする企画を実施し、利用促進に貢献されています。また「みたけとんちゃん発展会」として、御嵩駅前の店舗「よってりゃあみたけ」の運営を行うなど、駅前・町全体の活性化に寄与されています。

▶名鉄広見線を守ろう会の活動はいつから始まりましたか？成功しているといえますか？

名古屋鉄道(株)より現状のままでは存続が難しいという通達があったという話を聞き、平成20年7月に会が発足しました。まだまだ活動は成功しているとはいえないので、この地域のために、もっと多くの方に利用してもらうよう活動を継続していく必要があると思っています。

▶名鉄広見線を守ろう会としてこの先やってみたいことはありますか？

毎月行っている電車に乗ってお出かけする企画は、地域内の方が地域外へと出向いていくスタイルなので、多くの方にこの地域に来てもらえるようなイベントが出来たらと思っています。

▶若い人にはどんな活動をしてほしいと思いますか？

まずは公共交通の大切さを学んでほしいです。そして、いま広見線が運行しているということのありがたさ、地域にとっての重要性などをどんどんPRしてほしいと思います。

広見線存続のために、また御嵩町の魅力を伝えるために長年活動を継続されていることだけでも本当にすごいです。それに満足せず、さらに新たな活動を実施しようと考えられていることが、本当に素晴らしいと思います。

私たちも、広見線をもっと利用してもらい、地域が盛り上がるよう、多くの人々と深く関わっていき、様々なイベントの実施やお手伝いをして、広見線や高校自体のPR活動など行ってみたいです！



とにかく「乗る」ことが
未来につながる第一歩！

「名鉄広見線へのメッセージ」

【2年生】牧岡 拓巳さん 井戸 咲希さん 小栗 佐登子さん 笠木 結衣さん 【1年生】瀬藤 騎士さん 梅村 凌太さん 野田 聖也さん